

呉市・音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町
合同合併協定調印式

日時：平成16年5月12日（水）10時
 場所：呉阪急ホテル4階「皇城の間」

次 第

1	開	会	呉市助役	川崎初太郎
2	来賓紹介			
3	経過報告			
4	調印			
5	立会人代表署名		呉市助役 呉市長 音戸町長 倉橋町長 蒲刈町長 安浦町長 豊浜町長 豊町長 呉市議会議長 音戸町議会議長 倉橋町議会議長 蒲刈町議会議長 安浦町議会議長 豊浜町議会議長 豊町議会議長	赤松俊彦 小笠原臣也 川岡孝美 石橋杉嘉 柴崎龍雄 沖田範彦 狭間襄治 長本憲和 中田清和 岡本明武 里木巧樹 山本茂武 森佐洋三 大道臣也 小笠原孝美 川岡杉嘉 石橋龍雄 柴崎範彦 沖田襄治 狭間憲山 長本雄和
6	主催者挨拶		呉市長 音戸町長 倉橋町長 蒲刈町長 安浦町長 豊浜町長 豊町長	小笠原臣也 川岡孝美 石橋杉嘉 柴崎龍雄 沖田範彦 狭間襄治 長本憲山
7	祝	辞	広島県知事	藤田雄山
8	閉	会	呉市議会議長	中田清和

出席者名簿

【来賓】

広島県知事
 呉商工会議所会頭

藤田雄山
 奥原征一郎

【合併協議会委員】

会長 呉市長
 副会長 音戸町長
 副会長 倉橋町長
 副会長 蒲刈町長
 副会長 安浦町長
 副会長 豊浜町長
 副会長 豊町長

小笠原臣也
 川岡孝美
 石橋杉嘉
 柴崎龍雄
 沖田範彦
 狭間襄治
 長本憲和

(吳市)

委員	吳市助役	川崎初太郎
委員	吳市助役	赤松俊彦
委員	吳市議会議長	中田清和
委員	吳市議会副議長	下西幸雄
委員	吳市議会 広域行政対策特別委員会委員長	岩原 椋
委員	吳市議会 広域行政対策特別委員会副委員長	石崎元成
委員	吳商工会議所専務理事	岩城公順
委員	吳市自治会連合会会長	梅河内秀登
委員	吳市女性連合会会長	喜田 晃江

(音戸町)

委員	音戸町助役	下垣内 清明
委員	音戸町議会議長	岡本義明
委員	音戸町議会副議長	篠崎哲郎
委員	音戸町議会 市町村合併問題特別委員会委員長	幸城和俊
委員	音戸町議会 市町村合併問題特別委員会副委員長	原田公明
委員	音戸町商工会会長	室澤喜洋
委員	音戸町区長会会長	坪井秀則
委員	音戸町女性連合会会長	武田安代

(倉橋町)

委員	倉橋町助役	中田正志
委員	倉橋町議会議長	里 武
委員	倉橋町議会副議長	宮西正司
委員	倉橋町議会 市町村合併問題特別委員会委員長	上瀬雅晴
委員	倉橋町議会 市町村合併問題特別委員会副委員長	吉本圭介
委員	倉橋町区長会会長	原 明
委員	倉橋町区長会副会長	黒野國良
委員兼監査委員	倉橋町監査委員	宮浦宣政

(蒲刈町)

委員	蒲刈町助役	村松弘康
委員	蒲刈町議会議長	山木 巧
委員	蒲刈町議会副議長	岡本智恵子
委員	蒲刈町議会 地方分権推進特別委員会委員長	大久保正孝
委員	蒲刈町議会 地方分権推進特別委員会副委員長	馬場照雄
委員	蒲刈町区長会会長	木村正雄
委員	蒲刈町商工会会長	兼田定夫
委員	蒲刈町女性連合会副会長	高岡 忍

(安浦町)

委員	安浦町助役	坂井紀明
委員	安浦町議会議長	森本茂樹
委員	安浦町議会副議長	渡邊隆司
委員	安浦町議会	
	合併問題調査特別委員会委員	林田浩秋
委員	安浦町自治会連合会会長	藤登哲郎
委員	安浦町女性連合会副会長	岸本美代子
委員	安浦町商工会会長	堀尾忠男

(豊浜町)

委員	豊浜町助役	隠地忠爾
委員	豊浜町議会議長	土佐武
委員	豊浜町議会副議長	伊藤圭一
委員	豊浜町議会	
	合併問題調査特別委員会委員長	西永英典
委員	豊浜町議会	
	合併問題調査特別委員会副委員長	大川一也
委員	豊浜町自治会小野浦区長	西野國定
委員	豊浜町自治会山崎区長	坂孝好
委員	豊浜町自治会立花区長	大奈良靖

(豊町)

委員	豊町助役	大町武之
委員	豊町議会議長	大道洋三
委員	豊町議会副議長	本末満
委員	豊町議会総務常任委員会委員長	廿日出真二
委員	豊町議会産業建設常任委員会委員長	長浜要悟
委員	豊町連合町内会会長	琢明知之
委員	豊町商工会会長	村尾征之
委員	豊町女性会会長	築山卜ヨコ

顧問	広島県呉地域事務所長	三上忠彦
監査委員	呉市監査委員	濱純三
監査委員	音戸町監査委員	森石盛平
監査委員	蒲刈町監査委員	小早川浩二
監査委員	安浦町監査委員	片岡壽一
監査委員	豊浜町監査委員	梶山一信
監査委員	豊町監査委員	藤田武則

【広島県関係者】

	広島県地域振興部市町村分権総室長	堂本雅彦
	広島県地域振興部市町村分権総室市町村合併推進室長	桂木弘二

【呉市関係者】

	呉市収入役	宮久保憲治
	呉市水道企業管理者	廣田左一
	呉市交通企業管理者	貞国信忠
	呉市教育長	堀久真
	呉市消防長	井門照幸
	呉市理事	矢口孝文

吳市総務部長
 吳市企画部長
 吳市財務部長
 吳市市民部長
 吳市環境部長
 吳市経済部長
 吳市建設管理部長
 吳市都市政策部長
 吳市土木建設部長
 吳市港湾部長
 吳市下水道部長
 吳市都市交通推進室長
 吳市総務部次長
 吳市企画部次長
 吳市企画部次長
 吳市財務部次長
 吳市企画部企画調整課長
 吳市財務部財政課長

石 井 久 雄
 岡 島 正 男
 田 中 浩
 辻 一 明
 見 世 正 志
 本 岡 賢 栄
 土 居 賢 三
 村 上 義 則
 斉 藤 基 朗
 佐 藤 俊 幸
 井手原 勝
 荒 井 和 雄
 刈 山 一 弘
 橋 本 寛 昇
 長 原 寛 和
 舩 本 雅 彦
 歌 田 正 己
 大 下 一 弘

【町関係者】

(音戸町)

音戸町総務課長
 音戸町企画課長
 音戸町総合ケアセンターさざなみ事務長
 音戸町参与兼下水道課長
 音戸町教育次長
 音戸町議会事務局長

竹 林 勝 博
 海 田 茂
 瀬 野 行 利
 津 留 廣 伸
 大 江 洋 司
 川 口 固 希

(倉橋町)

倉橋町教育委員長
 倉橋町企画課長
 倉橋町議会事務局長

城 戸 哲
 小 田 博
 石 丸 興 一

(蒲刈町)

蒲刈町収入役
 蒲刈町教育長職務代理者
 蒲刈町総務課長
 蒲刈町住民福祉課長
 蒲刈町建設下水道課長
 蒲刈町議会事務局長

是 方 英 司
 朝 日 建 一
 木 曾 護
 中 村 芳 隆
 梶 本 公 平
 村 地 潔

(安浦町)

安浦町収入役
 安浦町総務課長
 安浦町企画財政課長
 安浦町議会事務局長

佐 藤 和 幸
 吉 原 文 博
 小 林 一 司
 松 浦 健 一

(豊浜町)

豊浜町総務課長
 豊浜町住民課長
 豊浜町税務課長
 豊浜町建設経済第1課長
 豊浜町建設経済第2課長
 豊浜町水産課長

西 野 智
 登 能 傳
 北 谷 哲 彦
 中 道 章
 灰 原 松 二
 菊 本 恒 法

(豊町)

豊町収入役
豊町教育長
豊町総務課長

大町晃司
横手茂
金子直樹

午前10時 開会

芝山室長 皆様、本日は大変お忙しい中、御臨席賜り誠にありがとうございます。只今から「呉市・音戸町，呉市・倉橋町，呉市・蒲刈町，呉市・安浦町，呉市・豊浜町，呉市・豊町合同合併協定調印式」を始めさせていただきます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます，呉市広域行政推進室の芝山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、川崎初太郎呉市助役より御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

川崎助役 呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町の合同合併協定調印式の開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日は公私ともに大変御多忙の中、藤田雄山広島県知事をはじめ、多数御臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、呉市と6町との合併につきましては、皆様御承知のとおり、平成13年度に各町と個別に任意協議会を設置し、合併協議をスタートいたしました。そして、両市町議会の議決を受け、昨年9月には、同じく個別に法定の合併協議会を設置し、新市のまちづくりビジョンでございます「建設計画」の策定を含む32項目に及び協定項目を、8回の合同会議とそれぞれ2回の個別会議において御承認いただき、本日の調印式に至った次第でございます。

本日の調印後、様々な法的手続きを経て、来年3月20日の合併施行となりますが、新呉市のさらなる発展に向け、関係者の皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

芝山室長 ありがとうございます。ここで、本日、御臨席いただいております御来賓の皆様を御紹介いたします。広島県知事 藤田雄山様でございます。呉商工会議所会頭 奥原征一郎様でございます。

なお、本調印式に当たり、呉市・音戸町合併協議会、呉市・倉橋町合併協議会、呉市・蒲刈町合併協議会、呉市・安浦町合併協議会、呉市・豊浜町合併協議会、呉市・豊町合併協議会の委員の皆様にも、立会人として御出席をいただいております。

また、各合併協議会の顧問をお引き受け頂いております、広島県呉地域事務所長 三上忠彦様、各合併協議会の監査委員でございます、呉市監査委員の濱純三様、音戸町監査委員の森石盛平様、蒲刈町監査委員の小早川浩二様、安浦町監査委員の片岡壽一様、豊浜町監査委員の梶山一信様、豊町監査委員藤田武則様にも御出席をいただきました。

なお、倉橋町監査委員の宮浦宣政様は、協議会委員を兼任されておられますので、立会人として御出席をいただいております。

それでは、初めに、合併に向けた取り組みの経過について、赤松俊彦呉市助役より御報告申し上げます。よろしくお願いいたします。

赤松助役 合併調印に先立ちまして、私の方から呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町及び豊町との合併に向けたこれまでの取組みにつきまして御報告させていただきます。

お手元の封筒に同封しております「呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町及び豊町との合併に向けた取組経過」という資料をご覧くださいと存じます。

現在、住民の生活圏はモータリゼーションの進展等により、既存の市町村域を超えて広域化をいたしております。また、高齢化の進展・価値観の多様化により、住民の皆様が求められる行政

サービスも多様化・高度化しております。このような中で、今後の地域間競争という時代に対応していくためには、基礎的自治体である私ども市町村が地方行政の中心となってゆく必要があり、市町村合併の推進が全国的な流れとなっております。

呉市と6町は、従来より通勤・通学圏、医療圏、商圏といった住民の方々の日常生活に関する繋がりが非常に強い状況にございまして、また、行政面においても、観光、福祉、環境、消防をはじめ幅広い分野での共同の取り組み、職員の人事交流、住民同士の交流を推進してまいりました。

このような状況の中で、呉市と本日調印の運びとなりました6町は、既に合併を致しました旧下蒲刈町、旧川尻町とともに、平成12年8月に、「呉地域合併問題協議会」を設立し、行政制度の詳細な比較・検討を重ねるとともに、住民の皆さんに合併に関する情報提供を行ってまいりました。

合併に向けた機運が一段と高まる中、平成13年8月に安浦町、10月に音戸町、倉橋町、12月に豊浜町、年が明けて14年2月には豊町、蒲刈町と相次いで任意協議会を設置し、本格的な合併協議をスタートさせたところでございます。市・町の課長職により構成されます幹事会におきまして、600項目以上にも及ぶ行政制度の調整や検討課題の抽出等が行われるとともに、合併に係る基本項目の合意形成が図られた結果、1市6町それぞれの議会議決を経て、平成15年9月18日、各町個別に法定協議会を設置したところでございます。

法定協議会では、共通項目を中心に8回の合同会議と建設計画、独自事業を協議するために個別協議会を開催いたしました。県御当局の御指導・御助言をいただきながら、合併の形態や時期といった基本項目及び福祉、保健、経済振興、教育、上下水道等の各種事務事業の取扱い並びに新市建設計画の計32に及ぶ協定項目の一つ一つを慎重かつ迅速に審議し、その全てについて承認をいただきました。

これを受けまして、合併協定書を調製し、本日の調印式に至ったわけでございます。

なお、合併協定書につきましては、お手元の封筒の中にその写しを入れておりますので、ご覧頂ければと存じます。

以上、簡単ではございますが、呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町及び豊町の合併に向けた取組経過についての報告を終えさせていただきます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、合併協定の調印に入らせていただきます。合併協定書は6つの法定協議会ごとに、呉市分と町分の2部ございますので、あわせて12部ございます。従いまして、呉市長におかれましては、12回の署名・押印をしていただき、各町長におかれましては、2回の署名・押印をしていただくこととなります。

なお、協定書につきましてはお手元の封筒の中に写しを入れておりますので、ご覧いただければと存じます。

それでは、お名前をお呼びいたしますので、ステージ中央の方をお願いいたします。

小笠原呉市長、川岡音戸町長、石橋倉橋町長、柴崎蒲刈町長、沖田安浦町長、狭間豊浜町長、長本豊町長、よろしくをお願いいたします。

呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町の合併協定の調印でございます。

それでは、調印をお願いいたします。

(調 印)

芝山室長 平成13年度に呉市と各町はそれぞれに任意協議会を設置し、呉地域1市6町の新たな発展を目指して、3年近く合併の協議に取り組んできました結果、本日の調印を迎えたわけでございます。そういう意味で、本日は平成17年3月20日の合併に向けた1市6町の新たな第1歩となるものでございます。

それでは、協定書の交換をお願いいたします。

それでは2冊目も調印をお願いいたします。

ただいま市長、町長によりまして、すべての協定書に署名と公印の押印を行っていただいております。

ります。この協定書は、来年の3月20日まで、それぞれの市と町において、また、新市発足後も、呉市と各町の真摯な契りとして大切に保管されることとなります。

(調印)

芝山室長 ただいま、1市6町の合併協定調印が滞りなく行われました。皆様、大変ありがとうございました。恐れ入りますが、元の席の方にお戻りになられるよう、お願いいたします。

続きまして、立会人の皆様を代表し、各市・町議会議長の御署名をいただきたいと存じます。お名前をお呼びいたしますので、ステージの方へお進みいただきますようお願いいたします。

呉市議会議長 中田 清和様、音戸町議会議長 岡本 義明様、倉橋町議会議長 里 武様、蒲刈町議会議長 山木 巧様、安浦町議会議長 森本 茂樹様、豊浜町議会議長 土佐 武様、豊町議会議長 大道 洋三様、よろしくようお願いいたします。

それでは、署名をお願いいたします。

(署名)

芝山室長 それでは、協定書の交換をお願いします。
それでは2冊目も署名をお願いいたします。

(署名)

芝山室長 立会人を代表し、各議会議長の皆様に署名して頂きました。ありがとうございました。恐れ入りますが、元の席の方にお戻りいただきますよう、お願いいたします。

ただいま御署名していただいた皆様、大変ありがとうございました。本日ここに、呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町との合併協定調印が、合併協議会委員による立会のもと正式に執り行われました。これを記念しまして、藤田広島県知事と記念の握手を行いたいと存じます。藤田県知事、小笠原市長、川岡町長、石橋町長、柴崎町長、沖田町長、狭間町長、長本町長、ステージの方へお願いいたします。皆様の固い握手により、その証を確かなものにしていただきたいと存じます。

それでは、呉地域1市6町の新たな発展に向けた第1歩を記念して、握手をお願いいたします。

(広島県知事、呉市長、音戸町長、倉橋町長、蒲刈町長、安浦町長、豊浜町長、豊町長 握手)

芝山室長 ありがとうございました。恐れ入りますが、元の席の方にお戻りいただきますよう、お願いいたします。

続きまして、主催者より御挨拶申し上げます。最初に、小笠原臣也呉市長より御挨拶申し上げます。よろしく申し上げます。

小笠原呉市長 只今は、藤田雄山広島県知事をはじめ、これまで合併協議に向け御尽力いただきました委員の皆様のほか、多数の関係者、市民、町民の皆様の御臨席を賜り、呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町の合併協定調印を執り行うことができましたことに対しまして、厚く心から御礼申し上げます。

さて、地方自治体を取り巻く情勢については、地方分権の流れの中、保健、福祉、環境などの各分野において行政の高度化、広域化など様々な課題を抱え、大きな変革の時期を迎えております。このような時期に、将来の歩むべき姿を的確に見定め、行財政基盤の強化により、地方分権の受け皿となる強い自治体の形成が求められております。幸い、呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町は長い年月の間交流を続け、通勤・通学圏、医療圏、商圈等、一体となった生活圏を既に形成してきております。しかしながら、いざ合併ということになりますと、各町としての独立性がなくなる寂しさや、住民の声が十分反映されるかといった不安等があったらう

と思います。そうした中、音戸町の川岡町長、倉橋町の石橋町長、蒲刈町の柴崎町長、安浦町の沖田町長、豊浜町の狭間町長、豊町の長本町長の強いリーダーシップと、これを機にお互いに合併してよかったと言えるまちづくりにつなげていこうという信念をもって、数多くの困難な調整を進めていただき、また、各議会をはじめ各市町の皆様方にも深い御理解と厚い御支援を賜り、本日、合併協定調印を執り行うことができましたことは感激ひとしおのがあります。改めて、長い間の関係者の御努力に心から敬意を表し感謝を申し上げます。それとともに今後、更なる発展に向け決意を新たにすることはもちろん、大きな使命を痛感しておる次第でございます。

御案内のとおり、今回、合併調印の運びとなりました6町には、自然と歴史に裏打ちされた文化と伝統、また、町長さんをはじめとする多くの関係者の皆様が取り組んでこられたまちづくりの成果があります。

音戸町におかれましては、住民が生涯を通じて健康な生活をおくるため、保健・医療・福祉の拠点施設「さざなみ」が整備されるとともに、全国に名高い「音戸の瀬戸」、「清盛祭り」を後世に伝え、観光の起爆剤とするべく「観光文化会館うずしお」もオープンいたしました。

倉橋町には、日本の渚100選、白砂青松100選に選ばれております「桂浜」とその後背地には学習館、図書館、温泉館、健康館などからなる「桂浜ふれあいセンター」、また温水プール「ウイングくらはし」などが一体的に整備され、住民、観光客の交流・拠点施設となっております。

蒲刈町には、日本の渚100選・日本の水浴場88選にも選ばれている「県民の浜」とその一帯には、宿泊・研修施設「輝きの館」を中心に地域の特産品として名高い藻塩づくりの「体験施設」などが集中的に整備され、遠方からの観光客にも高い評価を得られておられます。

また、安浦町では、下水道事業や土地区画整理事業など、都市基盤整備を進めておられるとともに、大規模年金保養基地「グリーンピア安浦」を中心とした中国地方における本格的なリゾートタウンとしてのまちづくりを進めておられます。

また、(仮称)豊浜大橋(安芸灘3号橋)の完成により、平成10年代後半には呉市と陸続きになることが見込まれております豊浜町は、鯛とミカンに象徴される伝統的基幹産業である漁業と農業の振興に努められるとともに、「アビ渡来群遊海面」は国の天然記念物にも指定されておられます。

最後に、長い伝統と歴史を有する豊町には、全国ブランドである「大長みかん」があり、また、御手洗地区には「若胡子屋跡」、「七卿落遺跡」に代表される「重要伝統的建造物群保存地区」があり、歴史的価値の高い史跡などを復元・整備することにより、町外からの観光客増加を図っておられます。

これら瀬戸内海の自然・歴史・文化・産業などの貴重な地域資源と明治以降100年の歴史を誇る呉市の都市基盤・拠点機能の融合を図り、新呉市として産・学・住・遊のバランスのとれた海洋交流都市の形成を目指してまいりてまいります。どうか皆様方におかれましては、今後とも絶大なる御支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後、本日の調印を受けまして、平成17年3月20日の合併という運びになるわけですが、法的にはまだまだ重要な手続きがございます。これからも引き続き皆様の御理解と御支援を心からお願い申し上げますとともに、来年の3月20日、円滑に新市に移行できますことを心から祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

本日は皆様本当にありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、川岡孝美音戸町長より御挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

川岡音戸町長 それでは一言だけ御挨拶を申し述べさせていただきたいと思っております。ただ今、小笠原呉市長より御挨拶がございましたけれども、私も音戸町長として合併協定調印を滞りなく終えることができましたことは、歓喜に耐えない思いが満ちているところでございます。本日ここにすべての皆様方へ心から感謝、御礼申し上げたいと思っております。また、本日は藤田広島県知事、奥原商工会議所会頭をはじめ、関係者の皆様におかれましては、大変お忙しい中、御臨席を賜り、本当にありがとうございます。

これまで、任意協議会、法定協議会と段階を踏んだ取り組みを進め、いよいよ平成17年3月20日の合併が現実のものになったと思っております。今、21世紀を迎え、少子高齢化社会が進行する中、福祉や環境の問題など、新たな行政課題も多く、行政の枠組みを超えて対応していかなければならない状況がございます。今回の平成の大合併は生涯にわたり住民サービスの維持向上を図るため、また、行政体制を充実、強化するものであります。合併による地域の一体化は新呉市を魅力あるものにすると同時に、我が音戸町におきましても、将来にわたり持続的な発展ができるものと確信いたしております。

終わりに、小笠原市長をはじめ、いろいろ御尽力を賜りました、合併協議会の委員の皆様方には本当にありがとうございますと、心から感謝の気持ちを申し述べさせていただきます、私の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、石橋杉嘉倉橋町長より御挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

石橋倉橋町長 倉橋町を代表いたしまして、一言御挨拶申し上げます。本日、藤田広島県知事御臨席のもとに、合同調印式を迎えることができましたことを小笠原呉市長をはじめ、両市町の関係各位の深い御理解と御協力の賜物と感謝しているところでございます。

国や地方を通じた財政状況は、厳しい状況に置かれている中で、少子高齢化や環境問題など、社会経済環境の変化に伴って、多様化・高度化する住民ニーズに対し、地方分権の担い手である市町村が、より高度な行政サービスを提供するための体制・整備を図りながら、住民が本当に安心して暮らせるようにどうあるべきかを、住民とともに考えていく、これが市町村合併であろうかと思っております。倉橋町におきましては、行政懇談会での町民との対話、パンフレットや町広報誌での情報提供などを実施しました。また、呉市とは、任意協議会、法定協議会を通じて、信頼関係に基づく協議が行われるなど、両市町の住民や議会の皆様の御理解、御協力をいただきながら、集積した結果として、本日の調印式が迎えられたのではないかとと思っております。

倉橋町は「人々が生き活きと交流するまちくらはし」を掲げ、町民との協働によるまちづくりを推進してまいりました。特に桂浜ふれあいセンターを中心として、健康づくり、教育機能の充実を図りながら、また、農水産資源を活用した特産品の開発などに努め、瀬戸内歴史絵巻の観光等の一翼を担えるものと自負いたしております。今後、新呉市のアピールポイントとして、益々充実していただきますよう、改めてお願いをいたすところでございます。

最後になりますが、小笠原市長をはじめ、本日までの御尽力をいただきました合併協議会委員の皆様へ感謝を申し上げますとともに、本日御臨席の皆様の御健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶にさせていただきます。本当にありがとうございます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、柴崎龍雄蒲刈町長より御挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

柴崎蒲刈町長 本日、藤田県知事御臨席のもとに合併協定調印を終えることができまして、心から喜ばたいと思います。これもひとえに小笠原市長、中田議長をはじめ、合併協議会委員並びに、関係者各位の皆様のお力添えに対し、感謝申し上げます次第でございます。しかし、合併までには、なお多くの課題が積み残されているわけでございます。この合併が住民と向き合った住民のための合併になるよう、今後とも、皆様方の一層の御指導御鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。本日はおめでとうございます、ありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、沖田範彦安浦町長より御挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

沖田安浦町長 一言御挨拶申し上げたいと思います。本日、藤田雄三広島県知事、また呉の経済界を代表いたしまして奥原商工会会頭の御臨席のもとに呉市との合併調印をすることができま

した。安浦町にとりまして、感慨ひとしおのものがあるわけですが、平成12年8月に合併問題協議会の設置が1市8町で行われました。それから、1年後の平成13年8月に呉市との任意協議会を立ち上げたわけですが、それから2年有余のいろいろな審議の中で、様々な意見の交換や我々の要望をお伝えしてまいりましたが、実のところまだまだ不満なところもたくさんあります。けれども、贅沢の限りを言っていたのでは事が前に進みません。そういった中で、今日の合併協定調印式ということになり、新しい呉市の枠組みに入っていくわけですが、呉市は皆さん御承知のとおり、大変歴史のある、また、伝統のある重みのある市でございます。そういった市の中に組み込まれるということは、安浦町にとっても非常にいいことであるということ深く認識をいたしております。そういった中で、地盤沈下等が言われておりますけれども、産業や観光の面においても、広範囲に、新しい呉市として是非取り組んでいただきたいという思いが一つあります。

もう一つお願いしたいことは、現在の少子高齢化社会の中にあつて、福祉の問題についてはそれなりの対策がとられておりますが、教育の問題について、我々としたらまだまだ心配な面もたくさんございます。御承知のとおり、広島県は文科省から是正指導が入ったくらいの非常に問題の多い教育圏でございました。その中であつて、呉市においても、安浦町においても、そういう状況下の中で呉市もまだまだ十分な事が行われておりません。是非、主体性のある、子どもたちにしっかりと目を向けた教育環境をつくっていただいで、以前の教育一市である呉市を目指して邁進していただきたいということを、是非お願いしておきたいと思っております。この問題については、合併協議会の中で十分に話ができませんでしたけれども、今日は立会人の皆様、また、関係者の皆様方がたくさん御臨席いただいでいる中で、このことを強くお願いしておきたいと思っております。

本当に今日は調印というはこびまでもってまいりましたのは、安浦町の議員の皆様方、また、協議会委員の皆様方に本当に心から感謝を申し上げたいと思っております。これまでの協議会の中でも安浦町が一番意見が多かったように思いますし、また、いよいよ最終的に6月に行われます安浦町議会で合併についての賛否を問うわけですが、反対の意見も多い中で、是非スムーズに賛同いただけるよう、議員の皆様方と話し合いをして調整を行ってまいりたいということ新たな決意として思っているところでございます。

今日は、皆様方に見守られながらの調印式でございましたが、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、狭間襄治豊浜町長より御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

狭間豊浜町長 豊浜町を代表いたしまして、一言御挨拶申し上げます。本日は公務御多忙中、広島県知事の御臨席のもと、合併協定調印式を迎えることができましたことは、呉市長をはじめ、関係者の皆様の深い御理解と御協力の賜物と感謝いたしておる次第でございます。

今、地方自治体の直面いたしておりますことは、財政状況が非常に厳しいということであり、行財政基盤の強化や生活圏の広域化など、様々な課題をかかえ、大きな転換の時期を迎えようとしております。豊浜町は平成11年より呉広域の消防に加入しておりますが、離島であり、県内で一番高齢化率の高い豊浜町といたしましては、この呉広域の消防の加入により、どれだけの人が助かったか、数え切れないのであります。まだこれからも高齢化は進みます。この1点だけを考えましても広域化は必要と考えております。今後の地域間競争という時代に対応するために、より広域的な観点から施策の展開が必要と思われまます。

平成の大合併と言われる今日、呉市と任意協議会、法定協議会などいろいろと協議をしてまいりまして、本日の調印のはこびとなりました。これからは、新呉市民の一員として頑張っていきます。今後ともよろしく願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、長本憲豊町長より御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

長本豊町長 豊町の長本でございます。広島県知事御臨席のもとにこうして私ども呉市との合併協定調印式を迎えることができました。一抹の寂しさと喜びを感じているところでございます。これもひとえに、小笠原呉市長をはじめとする呉市当局の大人の対応によりこうしたスムーズな合併議論が進んだことに改めて感謝を申し上げたいと思います。

私どもは常々住民の皆さん方に行政は苗床としておりますし、そこにどんな花を咲かせるか、あるいはどういう管理をするか住民の皆さんの力が大事ですよ、そうしたまちづくりをしましょいうよということで今まで取り組んでまいりました。今回のこの合併協議におきましても、すべから私どものCATVで収録をし、8回の合同会議、2回の個別協議をすべて放映してまいりました。住民がいかに幸せであるか、住民の意思をいかに反映できるかということを中心に取り組んでまいりました。そういった意味からすれば、今回の合併によりまして住民のサービスが低下しないということが確信を持って言えると思います。一方では、先ほど市長からもお話がございましたように不安もございます。こうしたことは、これから10ヶ月あまり、3月20日までの間にそうした不安のない、我々行政の立場での努力がいると思っております。

私どもは、「大長みかん」、「御手洗の伝建地区」というふうに島であるということ誇りに持ちながら、住民が楽しく、豊かに過ごしております。今回、合併することによりまして、呉市の東の玄関口として何を呉市民の皆様へ御提供できるかということもこの3年間で町民とともに議論してまいりました。いろいろな建設計画も取り込んでいただきました。本当にこれから私どもは合併することに豊町民はもちろんのこと呉市民にとりましても、いい合併であると誇れるような合併でありたいと願うところであります。

以上甚だ簡単でございますが、本日の合併調印に対する御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございます。

次に、大変お忙しい中、御臨席いただいております御来賓の皆様を代表していただきまして、広島県知事 藤田雄山様より御祝辞をいただきたいと存じます。

藤田知事よろしくお願いいいたします。

藤田広島県知事 呉市・音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町の合併協定調印式にあたり、一言お祝いを申し上げます。

この度の合併は昨年の下蒲刈町、今年の下蒲刈町に続いて新しい呉市を築き上げる総仕上げとなるものでございます。また、7市町による大規模な合併であり、それぞれの地域の思いを一つにまとめていくという大変困難な取り組みをとまなうものでございます。こうした中、皆様におかれましては、議論を尽くし、お互いの立場を理解し、歩み寄りながら合意形成を図られ、本日の合併協定調印式を迎えられました。この間の市長、町長をはじめ、議会議員、合併協議会委員、関係者の皆様御苦労に心から敬意を表する次第でございます。この合併を契機として、東西南北及び安芸灘諸島を連絡する交通軸の整備など、産・学・住・遊のバランスのとれた都市的空間が享受できる都市づくりができるとともに、それぞれの地域が有する瀬戸内海の多彩な資源を活かした海洋交流都市圏の形成が早期に実現されることを期待いたしております。県といたしましても、新しいまちづくりのため、できる限りの支援をしております。

終わりに、本日の合併協定を機に7市町の一体性がさらに高まり、個性豊かで活力に満ちた、より一層住みやすい地域社会となりますことを、また、合併の実現に向けましては各議会における議決をはじめ、様々な手続きが残っておりますけれども、そういった手続きがスムーズに終了されまして、新生呉市が折には、その新生呉市の将来が本日の天気のように限りなく明るく、そして輝きあるものとなりますことを心から祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございます。

それでは、閉会に当たり、中田清和呉市議会議長より御挨拶申し上げます。よろしくお願いいいたします。

中田議長 閉会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。本日は大変御多忙のところ、広島県知事藤田雄三様をはじめ、呉商工会議所会頭奥原様に御臨席いただき、こうしてかくも盛大に調印式が行われましたことを心からお喜び申し上げる次第でございます。

振り返ってみますと、平成12年8月から今日に至るまで、本当に長い間、各町の関係者の皆様方、呉市長をはじめ、各町長さん方、また、議会議員、合併協議会委員の皆様方に御論議をいただきまして本当にありがとうございました。おかげさまで今日すばらしい調印式を施行することができました。切ながら来年の3月20日までには、まだまだお互いに細かい問題を詰め合わさないといけないことがいろいろと残っているのではないかと思います。これからいろいろな形で市民、町民の代弁としてすばらしいまちづくりのために、益々御協力、御尽力を賜りますように心からお願いをいたします。

今回調印は済みましたが、しかし、合併して良かったというふうに町民、市民の皆さんが感じてくださるまで、私たちの責任は果たしたというふうには言えないと思います。これからすばらしい呉市を建設するためにより一層の御尽力、御協力を賜りますことをお願いいたしまして、誠に簡単でございますが、閉会の言葉にさせていただきます。どうもありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございました。

以上をもちまして、「呉市と音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町との合併協定調印式」を終了いたします。御臨席の皆様、本日はどうもありがとうございました。

なお、報道関係者の皆様に御連絡申し上げます。この後、市長と各町長による記者会見を3階の「安芸の間A」において行いますので、移動をお願いいたします。

また、先ほど立会人として署名をされました各議会議員以外の委員の皆様は、立会人署名会場として3階の「安芸の間B」を御用意いたしておりますので、移動をお願いいたします。

記者会見場は3階の「安芸の間A」、立会人署名会場は同じく3階の「安芸の間B」でございます。 よろしくお願い致します。

午前11時15分 閉会